

ユニフォーム作製にあたって

一般社団法人日本小学生バレーボール連盟

はじめに

公益財団法人日本バレーボール協会（以下 JVA）主催の大会に参加するチームは JVA が定めるユニフォーム規定及び日本小学生バレーボール連盟のユニフォームに関する基本的な考え方を遵守しなければなりません。各チームがその内容を熟知した上でユニフォームを作製できるように本文書を作成いたしました。

1. ユニフォーム規程について

資料「公益財団法人日本バレーボール協会 ユニフォーム規程 2026 年度一部改訂」

特に、以下の点について確認をし、規定に合わないユニフォームは、大会（JVA 主催大会）に向けて手直しか再作製をする必要があります。

【3. 選手番号】

(1)ユニフォーム（ゲームシャツ）には、選手番号がユニフォームとはっきりと区別できる対照的な色で、明確に表示されていなければならない。

（例）



番号が明確に表示されていない例



番号が枠だけ



柄と番号が同化している



地の色と対照的ではない



銀色で光って見えづらい

【5. チームネーム】

(1) ゲームシャツの前部もしくは背部に、JVA-MRSに届け出たチームネーム
またはそれを特定できる略称のいずれかを付けなければならない。

サイズは規定しない。また、チームのシンボルマーク(社章・校章・略号)も付けてもよい。

チームネーム表示の例 「読売アタッカーズ」の場合

前 部	背 部
読売アタッカーズ	なし
なし	読売アタッカーズ
読売	アタッカーズ
アタッカーズ	読売

ローマ字・英語表記も可

(2) ジャージ(シャツ)の袖に(袖が無い場合には背面襟下に)所属する都道府県名を付けてもよい。なお、都道府県名の大きさはチーム名よりも小さいこと。(高さが低いこと)

※都道府県名がチームネームより大きいと、都道府県大会時にチーム名が同じに見えてしまいチーム名の区別がつかなくなってしまうため。

2. ウェア・シューズ・サポーター公認制度について

毎年度ごと、JVA 公認企業ロゴ一覧が示されますので、ご確認ください。

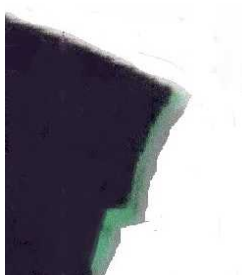
- ・対象は JVA 主催国内競技会(全国大会)とするが、都道府県予選会も可能な限りこれに準じるものとする。
- ・公認企業以外のもを使用する場合は、各チームが予めロゴを露出させないように処理をする。

3. 日本小学生バレーボール連盟としての基本的な考え

(1) ユニフォームのデザインについて

ノースリーブのユニフォームに関して、肌の露出部分を多くすることで擦り傷等のけがや盗撮のリスクがあることから着用は**不可とする**。

※許容されるデザイン(フレンチリーブ、キャプスリーブ)



(2) シャツのインとアウトについて

肌の露出の点で怪我や盗撮のリスクもあることからシャツを入れるよう指導する。

ただし、夏の大会で空調設備のない会場で開催する場合や会場内の熱中症指数が上がっている場合など、状況によってはシャツを出して着用することを認める。その判断は、各大会ごと主催（主管）者によって行い、大会要項または代表者会議にて示す。

(3) 選手名の表記について

子どもたちの個人情報保護の観点から、選手名は入れないこととする。

(4) スポンサーロゴ及びユニフォーム広告について

子どもたちを広告塔にしないという観点から、スポンサーロゴ及びユニフォーム広告は入れないこととする。

(5) ベンチスタッフの服装について

「統一された服装」の捉え方として、同一色・無地（同デザイン）であれば、メーカー等の違いやワンポイントロゴの位置や色は問わない。

(6) 混合の部における男女のユニフォームについて

JVA ユニフォーム規程詳解のリベロプレーヤーのユニフォームを参照。

「相手チーム、観客、レフェリーから見て明瞭に区別できるように、カラーやデザイン面に注意する必要があります。」の通りとする。